

令和3年12月甲良町議会定例会 一 般 質 問

順 番	質問者	質 問 事 項	答 弁 者
1	8 番 木村 修	<p>1、西が丘産業集積地の進捗は</p> <p>① 11月12日の全協で募集要領の見直しをされたが、見直しが4個・負担分析が1個の見直しだが、見直し①と負担分析の再度説明を。</p> <p>② 平成26年度に寄贈をうけて、その後に土地面積が約88,000坪と聞いていたが、再度当時の経緯を知りたい。</p> <p>③ 開発をするにあたって、土地（道路など）の隣地が有る訳だが、隣地人に了解を得る必要は。</p> <p>④ 土地への進入道路の事が今回見直されたが、以前道路②の事を話したが、参考にしてもらえたと言う事か。道路①にとられる事無く、道路②をと言う意味だったが、見解を。</p> <p>2、教育行政について</p> <p>① 小学校英語の進捗は。</p> <p>② 来年度から始まる教科担任制（英語・理科・算数）に加えて体育も対象教科になるらしいが、準備は。又その理由は。</p> <p>③ 学級担任制から教科担任制へと移行する理由は。</p> <p>④ コミュニティ・スクールとは。また本町における状況は。</p> <p>⑤ 組織を立ち上げるにあたっての問題点は。</p> <p>⑥ 全国では何%の学校が導入しているか。</p> <p>⑦ 校則という部分でも色々な問題が有ると思うが、本町ではどうか。</p> <p>⑧ 補導という部分にも変化はあったか。</p> <p>⑨ ギガスクール構想・タブレット貸与の進捗は。</p> <p>⑩ PC端末のチャット機能利用での「いじめ」・スマホ利用での「いじめ」が全国で増加している様だが、本町は。</p> <p>⑪ 不登校の児童生徒が全国で約20万人らしいが、本町では。</p>	<p>企画監理課長</p> <p>企画監理課長</p> <p>企画監理課長</p> <p>企画監理課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>

		<p>3、各種ガン検診について</p> <p>① 本町における各種がん検診の種類と総予算は。</p> <p>② 各種がん検診の方法は。</p> <p>③ 各種がん検診の受診数は。</p> <p>④ N-NOSEの尿検査とは。</p> <p>⑤ ④の尿検査料はいかほどか。</p> <p>⑥ 各種がん検診と同じく、近未来にN-NOSEへの補助は考えられないか。</p>	<p>保健福祉課長 保健福祉課長 保健福祉課長 保健福祉課長 保健福祉課長 保健福祉課長</p>
<p>2</p>	<p>5 番 阪東 佐智男</p>	<p>1、少子化の現状について</p> <p>① 東西小学校の来年度入学児童は何人か。</p> <p>② 同じ消滅町で近隣の多賀町では来年度入学児童は何人か。</p> <p>③ 今後の入学児童の推移動向をどのように試算しているか。</p> <p>④ 激減に対する状況に歯止めがかかっていない状況として、町としての役目は重要であり国や県の少子化の考え方とは別に、町として地域状況に応じた子育て世帯応援が必要と思うが考えはあるか。</p> <p>2、高齢化による健康づくりについて</p> <p>① 人生100年時代に元気に暮らして行くにはフレイル（健康と要介護の間）虚弱者を無くしていくことが大切で本町では、現在次の方々は何人いるか把握されているか、比率でも結構。（要介護者、フレイル、プレフレイル）</p> <p>② 滋賀県は比較的長寿県でもあるが、本町の位置はどこで今後の改善策は。</p> <p>③ 町としてフレイル、プレフレイルの方々を少しでも減らす活動をどのように指導又は取り組んでいるか。（栄養指導、運動、社会参加等）</p> <p>④ 集落では、健康推進員が地域の方々へ健康学習を自らの貴重な時間をさいて活動している。しかしながら健康な人にとっては、なかなか関心が低い事も事実であり活動内容を幅広く紹介し、広報等を使っての後押しも必要と思うが。</p>	<p>教育次長 教育次長 教育次長 企画監理課長 保健福祉課長 保健福祉課長 保健福祉課長</p>

		<p>⑤ 人口減少が進む中で高齢者の定年延長が伸び、就労の機会がより一層進む。老後を無理なく上手く就労して経済的にも心配なく、いきいきと暮らせる社会づくりも必要と考える。身近な就労場所との連携等の必要な政策を考えているか。</p> <p>3、過疎地のくらし支援の準備について</p> <p>① 農商工連携の企画の推進状況は。暮らしや生活面で不自由を強く感じる人が増えている。そのような中で暮らしを守るためにも支える活動が必要。しかしボランティアでは継続に限界がある。国では農村RMO（地域運営組織）集落機能を補う事業体を支援する取り組みが今後始まろうとしている。暮らしを支える活動は法人格を取得しないと活動に制約が生じる可能性もあるため農業法人や自治会（法人格）等が有力。国の支援と個人出費もあるが本町として考えて行く必要があるのではないか。</p> <p>4、新教育長に聞く</p> <p>① 本町での在籍期間が長いとのことなので聞く。就任当初から現在まで児童、生徒や地域性や保護者の考え方は変わったと感じているか。（良くなったこと、十分でないこと）</p> <p>② 議会でも都度、学力が他校と比較し低いとの議論があるがどのように感じているか。</p> <p>③ 今後教育現場の長として、伸ばして行く点、改めなければならない点等は。</p> <p>④ 抱負又は目標は。</p>	<p>産業課長</p> <p>町長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
--	--	--	---

3	9 番 建部 孝夫	<p>1、町内零細土木業者の振興策は</p> <p>町長は、当初の町長選挙の公約にあげ、今回の総合計画にも「中小企業の経営体質強化を支援し、経営指導、人材育成を進める」また、先の一般質問の答弁で「一般競争入札が原則だが、地域経済及び中小企業の振興をはかる地域要件を設けた指名競争入札もあり、そのバランスが重要と考える」と答えている。そこで、本町の具体的実施策を訊ねる。</p> <p>① 抽象的な文書や答弁ではなく、具体的にどのように実施するのか、それともすでに実施しているか。</p> <p>② 地元業者で出来る仕事(工事)は、地元業者で賄うことだと考えるが、どうか。</p> <p>③ 地元業者の振興策の最たるものは、優先して地元業者に仕事(工事)をしていただくことだが、その道筋を付けられたい。</p> <p>2、国が給付する対象外世帯にも支援給付をすること</p> <p>このほど国は、18歳以下に1人当たり10万円を、住民税非課税世帯に対して10万円を給付することを決定した。でも、所得制限960万円は、世帯の上位所得者のみか世帯合算か、大学生・専門学校生への給付は、生活困窮者の支援という点では、非課税世帯より少し収入が多い低所得層への手当てはどうか等の課題を残した。国民の権利と平等の原則からして、必要とされる世帯や希望される世帯にも給付すべきである。よって、国の給付対象・範囲から外れた世帯に対して、町費で、せめて国の半額の5万円を給付することを求めるが、どうか。(試算：令和3年度住民税課税世帯1,735世帯、非課税世帯850世帯、18歳以下の子どもの数1,016人、その世帯数は推計510世帯、内訳は、課税世帯からは435世帯、非課税世帯から75世帯と推計した。このことから、課税世帯1,735世帯から435世帯引いた1,300世帯が給付対象となり、掛ける5万円の6,500万円の予算が必要となる)</p>	<p>企画監理課長 町長</p> <p>企画監理課長 町長</p> <p>企画監理課長 町長</p> <p>町長</p>
---	--------------	---	--

		<p>3、各計画事業の進捗状況を訊く</p> <p>令和3年度も8か月が経過し、残り4か月となり、ラストスパートの時期が来た。今年度計画をしている事業、工事等は順調に進んでいるか、進捗状況を質す。とりわけ、これから冬に向かい、あまり進まない土木工事計画の進捗状況を問う。</p>	<p>建設水道課長 産業課長 総務課長</p>
4	<p>7番 丸山 恵二</p>	<p>1、空き家対策について問う</p> <p>空き家は倒壊の危険があったり、ごみの散乱や立ち木が道路にはみ出したりするなど、衛生面や防犯面、町の景観といった観点などから様々な問題があるが、町として空き家対策についてどのように考えているか。</p> <p>2、町民向けのバスツアーについて問う</p> <p>新型コロナウイルスが落ち着いたら、以前のように町民向けのバスツアーを企画すべきではないか。</p>	<p>建設水道課長</p> <p>産業課長</p>
5	<p>10番 西澤 伸明</p>	<p>1、緊急の要望も含め、令和4年度予算編成に向けて コロナ禍の町民支援策の中で「今後、新規の個人施策は行わない」とした野瀬町長の基本姿勢を根本から再考するべきだと考えている。</p> <p>① 福祉灯油＝暖房費補助について。</p> <p>(1) 県レベルで暖房費補助を実施するところが表れている。国スポへの過剰な税金投入を中止し、コロナ禍での暮らし・営業・子育て応援にこそ優先して充実するべきであり、県に対して強く要請していただきたいが。</p> <p>(2) 町独自でも、一定の基準で、この冬緊急に実施していただきたい。</p>	<p>町長</p> <p>保健福祉課長</p>

		<p>② 補聴器の補助をぜひ。 加齢性による難聴、突発性難聴も日常生活、とりわけ、人とのコミュニケーションに支障をきたすことが明らかになってきており、今日では認知機能に重大な支障をきたすことが解明されていると言う。補聴器の精度も様々で、価格では数万円から数十万円、50万円をはるかに超える製品まである。町民のくらしと健康をわずかでも支援するためにぜひ実施していただきたいが。</p> <p>③ 医療費無料化を高校卒業まで延長を。 小学生以下の罹病率よりも、下がる傾向にあり、子育て応援の充実のひとつに。</p> <p>④ 学校給食の無償化に向けた準備の加速を。</p> <p>⑤ 高齢者等の安全確保のため、移動手段に不自由をきたす町民への対策充実が求められる。町内巡回バス実施に向けた本格的な検討を。</p> <p>2、甲良町産業集積地整備事業整備について</p> <p>① 事業の目的、その成功の見通し等を問う。 そのための初歩的、基本的整備のプロセスをどのように認識し、計画しているのか。(1)経済状況、(2)立地条件、庁舎内のマネジメント、整備のスケジュール等を明らかに。</p> <p>② 同事業者募集要領の見直しに関わる疑問点・問題点について改めて問う。進入道路および上下水道敷設の着手は進出企業開発企業との正式契約が成立してから、というのが当然ではないのか。「理想としては」で済ませてはならないのでは。</p> <p>3、滋賀県市町の決算概要発表について 郡内の多賀町、豊郷町と比較しても悪化状態が顕著であることが改めて判明した。</p> <p>① 歴代の町政が改善に向けての年次的目標数値、行動計画が示されず、漫然とした行財政運営を続けてきた結果ではないか。検証と反省が必要では。</p> <p>② 年次ごとの数値目標と具体策の策定が必須ではないか。</p>	<p>保健福祉課長</p> <p>町長</p> <p>教育次長 企画監理課長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>総務課長</p> <p>総務課長</p>
--	--	--	--

		<p>4、コロナの再拡大に備えて</p> <p>① 国・県・町のコロナ感染への対応・対策についての検証、教訓、強化すべき事項など明らかにしておく必要があるのでは。</p> <p>② ワクチン接種3回目の効果の科学的根拠および準備状況は。</p>	<p>町長</p> <p>保健福祉課長</p>
--	--	--	-------------------------

